

## 特別講義のお知らせ

コルネリヤ・イチン博士（ベオグラード大学教授）

Профессор Корнелия Ичин (Белградский университет)

### Философские аспекты «Елизаветы Бам» Д.Хармса ダニール・ハルムス『エリザヴェータ・バム』の哲学的側面

(講義・討論はロシア語、通訳なし)



日時 2011年10月14日(金) 午後4時50分~6時30分

場所 東京大学文学部3号館7階 スラヴ文学演習室

\* この特別講義は、沼野充義の夏学期金曜5限大学院演習「ロシア近現代小説研究」の一環として行われるものですが、一般公開とします。専門的感心のある方のご来聴を歓迎します。

**講師プロフィール** コルネリヤ・イチン博士は、ベオグラード大学教授、セルビアを代表する国際的に著名なロシア文学研究者です。特にオペリウ研究（ハルムス、ヴヴェジェンスキーなど）の分野では世界をリードする存在で、精力的な著作や論集の編纂で知られていますが、それ以外にも、フレーブニコフ、マンデリシュタム、レフ・トルストイなど、20世紀前半の広義のモダニズム文学に関する幅広い研究があります。

\* この講演会およびイチン博士の招聘は、科研費による研究プロジェクト「グローバル化時代における文化的アイデンティティと新たな世界文学カノンの形成」(研究代表者：沼野充義、研究課題番号 20320052)の一貫として行なわれるものです。